

平成 26 年度事業計画

総括

平成 26 年度の事業としては、

1. 実施事業（継続事業）
2. その他事業（繁殖育成事業、研究支援等事業、検査検疫等事業）

について、その充実を図り引き続き実施することとしている。

事業所ごとの職員配置を別紙 1 の通り予定している。

○会員数（平成26年3月1日現在）

正会員 18名

賛助会員 35名（個人33名、団体2団体）

○役職員等数（平成26年3月1日現在）

理 事（常勤） 2名

（非常勤） 4名

監 事（非常勤） 2名

職 員 32名（業務執行理事兼務者2名を含む）

臨時職員 14名

1. 実施事業（定款の第4条第1項1,3号業務）

(1) 霊長類関係の研究者及び技術者を対象にした研究助成事業

予防衛生に関する研究者及び技術者の育成を目的として、国内の霊長類関係の研究者及び技術者を対象に研究助成事業を行う。

実績	(23年度)	(24年度)	(25年度)
研究者	1名	1名	1名
技術者	なし	なし	1名

(2) 技術者の育成及び知識の普及

予防衛生を中心とする公衆衛生の向上と科学技術の発展に寄与することを目的として、次の事業を行う。

1) 予防衛生協会技術講習会の開催：霊長類関係の技術者等を対象にモデルザル「リアル1号」を使用して、カニクイザルの保定方法・採血方法・経口投与方法・骨髓液採取方法等の技術講習会を次の通り開催する。

ア. コース	初級・中級
イ. 開催時期	平成27年1月頃
ウ. 開催回数	4回（1日間/回）
エ. 開催場所	予防衛生協会本部事務所（つくば市）

2) 予防衛生協会セミナーの開催：霊長類関係の技術者等を対象に予防衛生に関するセミナーを次のとおり開催する。

ア. 開催時期	平成26年12月（1日間）
イ. 開催場所	文科省 研究交流センター（つくば市）

2. その他事業（定款の第4条第1項2,4号業務）

(1) 繁殖育成事業（独立行政法人医薬基盤研究所からの委託事業）

独立行政法人医薬基盤研究所（以下、「基盤研」と記載する）が行う一般競争入札に参加し、当協会が平成 26 年度も業務を行うこととなった。

(2) 研究支援等事業

基盤研霊長類医科学研究センター内の共同利用施設（医科学実験施設及び感染症実験施設）において医科学研究等のために飼育されている医科学研究用霊長類の飼育管理や研究材料採取、手術処置、検査等を研究者等から依頼を受け、当協会の技術者がこの業務に従事する。

なお、共同利用施設を利用する外部研究者の研究課題の選定に当たっては、基盤研が公募し基盤研の共同利用施設運営委員会等により審査のうえ決定される。

また、滋賀医科大学をはじめとした基盤研以外の機関における研究支援事業の開拓を図り、事業を推進することとしている。

(3) 国立感染症研究所村山庁舎等における飼育管理業務等

国立感染症研究所村山庁舎及びハンセン病研究センターにおける実験用霊長類や小動物の飼育管理業務等についても、競争入札において落札したため、前年度に引き続き業務を行っていくこととしている。

(4) 検査検疫等事業

医科学研究等に使用するサル及びヒトの安全を確保するために、前年度に引き続いて次の通り実施する。

1) 検査については、国内外のサル飼育施設から依頼を受けたサル由来材料等についてウイルス抗体検査や細菌検査等を実施する。

2) 検疫については、研究者の依頼があれば輸入検疫後のサルあるいは

国内生産サルについて霊長類医科学研究センターへの導入検疫を実施する。

検査・検疫件数

	(24 年度実績)	(25 年度見込)	(26 年度見込)
(ア) 検査件数	32,395 件	31,300 件	32,000 件
(イ) 検疫頭数	44 頭	16 頭	20 頭

- (5) 大学や研究機関等に当協会の技術者を派遣し、研修の実施や飼育技術者認定試験等への協力を行う。

- (6) 研究支援技術開発等

研究支援技術の開発等を行うと伴に、霊長類医科学研究に対応した研究器材の開発・整備も必要に応じて行う。

- (7) 医科学研究用霊長類からの基盤研究資料の構築等

基盤研霊長類医科学研究センターに協力しカニクイザル繁殖コロニーに係る構成、供給、モニタリングデータのデータベース化を行う。

- (8) 研究成果の発表

医科学研究用霊長類等に係る研究を積極的に進め、その成果を実験動物学会、バイオセーフティ学会、獣医学会等で発表する。

- (9) ホームページの運営

- 1) 当協会の組織及び業務の紹介
- 2) プライメイトフォーラムを運営し会員の電子会議等の場を提供
- 3) その他の関連情報を提供